

自分の会社を作りたい!! —— 最終選考に勝ち残った高校生たちの熱いプレゼンテーション

“高校生社長”が、続々誕生。

最優秀賞に鹿沼高・柴田さんの「株式会社 P-project」

次代を担う若者に起業を通して自ら考え行動する力を養ってもらうことを目的に「第2回 とちぎアントレプレナー・コンテスト」が開催され、高校生個人・グループ11組が最終選考に進出しました。プレゼンテーション審査は2月7日、宇都宮市陽西町の栃木県護国会館で行われ、「自分の会社の魅力」を熱い思いでアピール。表彰式と受賞者懇親会は3月7日、宇都宮市江野町の下野新聞NEWS CAFEで開催。最優秀賞には柴田紗莉菜さん(鹿沼高校2年)の「株式会社 P-project」が輝き、青木圭太実行委員長(株式会社青木製作所 代表取締役)より新会社開業資金100万円が贈呈されたほか、各賞を贈りました。

※第2回受賞者は高校の学年は平成27年3月7日現在です。

第2回 とちぎ アントレプレナー コンテスト

受賞者発表

最優秀賞 (1点)

小さなボディーガードをあなたの手に 株式会社 P-project

代表 柴田 紗莉菜(鹿沼高等学校2年)

日常生活の危険や不安を取り除き、人々の体と心を守る会社です。「小さなボディーガードをあなたの手に」をコンセプトに、GPS機能で警察と警備会社との連携システムを搭載した近未来型防犯ブザー「safe heart」を提案します。ウェアラブルで、おしゃべりにカスタマイズします。緊急時に警察や警備会社へ連絡でき、災害時は被災者の早期発見にもつながります。携帯電話のように1人1台まで普及させたい。最終的には携帯電話と連携し、ブザー本体が壊れても連絡が途絶えないようにしたい。

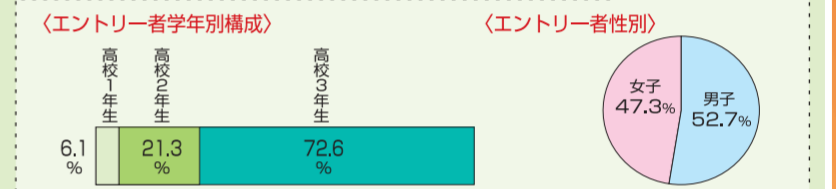


コンテストの概要

「第2回 とちぎアントレプレナー・コンテスト」は、県内の高校、高専、専門学校、短大、大学に在籍する学生を対象に「未来の社長への道」を開く「実践的起業家教育プログラム」として実施されました。

- 1 エントリー受付 (2014.9.10~10.27)
 - 2つの質問 [Q1.自分の会社のネーミング/Q2.会社の簡単な説明] に答えて、個人・グループ(5人以内)でホームページ、FAXからエントリー。
 - 19高校より206点がエントリー
- 2 1次選考 (エントリーシート審査)
 - アイデア賞20点を選出(3千円分のクオカード進呈)
 - 1次選考通過者(アイデア賞受賞者)は、2次選考進出の権利を得る。2次選考進出者には「ビジネスコンセプト作成のためのセミナー」を開催(希望者のみ)。
- 3 2次選考 (ビジネスコンセプトシート審査)
 - コンセプト賞11点を選出(5千円分のクオカード進呈)
 - 2次選考通過者(コンセプト賞受賞者)は、最終選考進出の権利を得る。最終選考進出者には「事業計画書作成のためのセミナー」を開催(希望者のみ)。
- 4 最終選考 (事業計画書、プレゼンテーション審査)
 - 高校生11組が10分間のプレゼンテーションを行う。
 - 2015年2月7日(土)
 - 会場: 栃木県護国会館(宇都宮市陽西町)
 - 審査委員/青木圭太氏(株式会社青木製作所)、河村公威氏(株式会社ピースノート)、柳村克彦氏(株式会社アイデアクト)、伊藤智章氏(フルタイム生命保険株式会社)、芳賀美子氏(とちぎアントレプレナー・コンテストアドバイザー)・石崎公宣氏(下野新聞社)

- 【高校】
- 宇都宮高校
 - 宇都宮女子高校
 - 宇都宮北高校
 - 宇都宮白楊高校
 - 宇都宮商業高校
 - 作新学院高校
 - 鹿沼高校
 - 石橋高校
 - 栃木農業高校
 - 栃木女子高校
 - 佐野日本大学高校
 - 白鷺大学足利高校
 - 足利高校
 - 真岡高校
 - 真岡工業高校
 - 真岡女子高校
 - さくら清修高校
 - 黒磯高校
 - 大田原高校



優秀賞 (2点)

病気が早く治るように、“おしゃべり”で心を元気に!! 株式会社 medical art

代表 河田 祐美(宇都宮白楊高校2年)

病気を早く治すには、心を元気にするケアが必要。そこで絵柄をプリントしたおしゃべりな医療・福祉用品やパジャマを販売し、病気がケガで苦しむ人たちに元気を与える会社を提案します。有名者にサインや励ましの言葉を書いていただくことも考えています。病気が早く治るよう、お手伝いすることは医療費削減に貢献することにもなります。いつの日か、おしゃべりな義手、義足をつけた人たちが楽しく街を歩ける会社をつくりたいです。



Light着物と若者向けイベントで、日本文化をPR 株式会社 和飾 / 代表 新保 龍馬(宇都宮北高校2年)

グループメンバー: 細川 晃平(文星芸大附属高校2年)

和服、和食、礼儀作法など日本文化への関心が薄れつつある若い人たちに、もう一度日本文化に目を向けてほしい、と起業を思い立ちました。着物を若い人を中心に普及させるイベントを開催し、着物の試着や着物コンテストを行います。また、安価で着やすい「Light着物」と名付けた若者向けの着物や、着物素材のジャケットやTシャツも作ります。世界を視野に入れ、外国人が多く訪れる場所に支店を開設することも考えていきたいです。



第1回 とちぎアントレプレナー・コンテスト 最優秀賞受賞者メッセージ

前回のコンテストに「お客様の手作り料理を缶詰にする会社」で応募し、最優秀賞をいただきました。そして今年の1月9日、本当に会社を設立し、「高校生社長」になってしまいました!!

最近、事務所(宇都宮市東築瀬)に缶詰を作る機械が入り、感動で胸がいっぱいです。メーカーの方々に一連の制作工程について説明を受け、社長としての実感が湧いてくるとともに、責任の重さを強く感じています。

まだまだ製品化に向けてやらなければならない課題が山積みですが、支えてくれる青木社長をはじめ、事務局やたくさんの方々の皆様へ感謝の言葉を伝える意味でも一歩一歩頑張っていきたいと思っています。

Memorable Taste 株式会社 代表取締役社長 小堀 詩 (宇都宮北高校3年)



特別賞 (2点)

花のエッセンシャルオイルで、心の医療に貢献 オハナノハナシ 株式会社

代表 長島 葉菜(宇都宮白楊高校3年)

現代人が抱えるストレスを軽減するお手伝いをしたいと思い、そのためには精油(エッセンシャルオイル)が有効だと考えました。お客様が好きな花の精油を、農家や農業学校と提携し、安値で原料を仕入れることでリーズナブルな価格で提供します。アロマテラピーは医療が及ばない領域や慢性疾患、精神疾患のケアに効果があるとも言われます。そのアロマテラピーにより、ストレス解消、さらには福祉、心の医療に貢献できる会社になりたい。



1分30秒も早く、髪を乾かす方法を開発しました 美研究 株式会社

代表 仲根 夏姫(宇都宮白楊高校3年)

「髪の毛を乾かすことが面倒。もっと早く乾かせる方法がないかな」と思っている女の子のために考えたのが「吸水機能付き手袋」です。手袋の指に装着型ブラシを取り付け、髪をとかしながら乾かすことができます。試作品での実験で、ふだん通りで乾かす時に比べ1分30秒も早く乾かすことができました。すべての女の子が毎日の生活を楽しく、快適に、おしゃべりに過ごせるような商品を提案できる会社になりたいと思っています。



奨励賞 (6点)

お手軽に「食の冒険」が楽しめます 株式会社グルメコーポレーション / 代表 小田 貴絵(宇都宮白楊高校3年)

グループメンバー: 橋本 真梨奈(同2年) ※最終プレゼンは橋本さんが担当

気軽に旅行気分を味わってもらうことを目的に、ネットやメディアで募集した会員に国内外の食べ物を届け、新しい食べ物に出会う機会を提供します。愛媛の柑橘類やフランスのチーズなど、本場やルーツの味を知る食の冒険は、新規性が高いと考えます。「地域の特産物に興味がある」や「忙しくて海外旅行ができない」、「料理に意外な味を取り入れたい」、「海外で食べた味をもう一度自宅で味わいたい」など、様々なニーズを満たします。



未利用魚に注目し、漁業を活性化したい 株式会社 おさっし / 代表 早勢 将弥(黒磯高校2年)

グループメンバー: 鈴木 崇希(同)

知名度が低く市場に出回らない未利用魚を積極的に販売し、漁業を活性化していきたいと考えています。刺身を回転させ回転寿司のような形で販売したり、刺身を自由に丼にトッピングできるようにしたいと思っています。安く仕入れる未利用魚を目玉商品にし、大手チェーン店と差別化を図ります。多くの人に未利用魚を知ってもらうため、調理しやすい形にばきレシビをつけてネット通販することも考えています。



樹の複製を作り、大切な樹を守り続ける会社です 株式会社 SAKURA art / 代表 山中 裕雅(栃木農業高校2年)

グループメンバー: 毛塚 大地、峯 秋人(同2年)、福田 亮、飯田 祐矢(同1年)

家族のシンボルツリーや寺院の御神木など、大切な樹をいつまでも守り続けていくことが経営理念で、想いをつなぐ「永遠樹」を提案します。一言で言うと樹の複製を作る会社です。遺伝子レベルの複製クローンを作り、お客様から移植の依頼があるまで育成、管理をします。歴史や伝統のある樹の複製を通して社会貢献、環境保護に取り組み、生産現場に耕作放棄地を利用することで美しい農村風景の維持にもつながってほしい。



家族などの音声付き絵本を制作、販売したい 株式会社 Book Paper / 代表 矢部 結子(栃木農業高校2年)

本離れが叫ばれている中、本のある環境をつくり読書への足がかりにしてもらうため、家族などの声を録音した音声付き絵本を制作、販売します。留守番をしている子ども、この本を開くと寂しい思いをすることはありません。友人や恋人へのプレゼント、入学や結婚のお祝いの品としても利用できます。卒業の記念として夢や目標をお気に入りの絵本に録音し、数年後に送り届けるタイプカプセル的な利用も可能です。



ネットの便利さと、人の温もりを融合します 株式会社 ネット・ヒジョ / 代表 小池 樹(大田原高校2年)

グループメンバー: 大島 涼一(同2年)

ネットを利用してお客様をアシストしマネージメントする会社です。メインのサービスは、メールの質問の答えをメールで返信する「メールサポート」と「スケジュール管理」です。既存の携帯アプリとは人の温もりで、また秘書と24時間対応でそれぞれ差別化を図ります。ネット社会の便利さを残しつつ、仕事の身中は人間の手でやることにより、今までになかった人の温もりのあるネットサービスを提供していきたい。



日本を「交通安全の最先端の国」にしたい 株式会社 No more 交通事故 / 代表 島田 風佳(宇都宮白楊高校3年)

自動車の速度をコントロールし信号無視をなくす機械を開発するとともに、速度違反者のナンバープレートを読み込み、個人を特定して警察と車所有者の勤め先に通報するシステムを開発する会社です。このシステム開発で警察の目が届かない所で違反と事故を減らすことができます。事業資金はクラウドファンディングで調達することを考えています。将来、海外にも売り込み、「交通安全の最先端に行く日本」と評価されるようにしたい。



栃木イノベーション賞

賞状 ●副賞(図書カード5千円分) 提供/下野新聞社

株式会社 SAKURA art

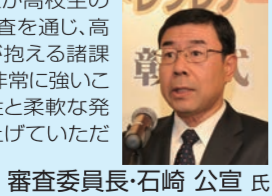
とちぎスマイル賞

賞状 ●副賞(テーマパークチケット) 提供/株式会社ピースノート

株式会社 Book Paper

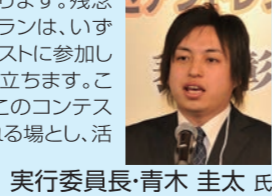
審査総評

応募数は昨年に比べ8割も増えています。それは本県初の画期的なコンテストであるということが高校生の間に広く周知された結果です。審査を通じ、高齢化や医療・福祉など、今の社会が抱える諸課題について、高校生の問題意識が非常に強いことを実感しました。今回も鋭い感性と柔軟な発想で、すばらしい起業プランに仕上げてくださいました。プレゼンなどの経験を将来に役立ててください。



実行委員長あいさつ

受賞した柴田さんは、これから社長として私達と実行委員と一緒に会社を運営することになります。残念ながらグランプリを逃した起業プランは、いずれもすばらしい内容でした。コンテストに参加した経験は、将来働く上で、絶対役に立ちます。この経験を糧にしてください。このコンテストを、起業を目指す皆さんが集まれる場とし、活力ある地域を創造する仲間として一緒に活動していきたい。



3月7日、下野新聞NEWS CAFEで表彰式と懇親会を行い、達成感の中で新しい仲間との出会いを楽しみました。